

知ってほしい 犬と猫と人のこと

ペットを飼うまえにできること

飼い始める前に、平均寿命や習性などその動物について学び、責任を持って飼えるかしっかりと話し合ってみてください。どのくらいのお散歩が必要??とか、私たち留守にする時間はどのくらいだろう?その子が命を終える頃、自分は何歳になっている??などなど、迎える子と幸せに暮らせるか、ライフスタイルに照らし合わせてみるのがとても大切です。

また、犬や猫も病気になります。人とは違い、医療費は全額負担です。ので、思わぬ高額の場合も。それを緩和してくれるペットの保険もありますが、その費用も含め考えてみてください。



お金で買うのではなく 里親になるという選択も。

犬種、猫種にこだわる「ファッション」的な選択は、犬や猫たちを苦しめているかもしれません。

足の短い子、耳の折れた子など、DNAのブレンドを人為的に繰り返すことで様々な特徴の子が作られました。ですがそれは遺伝としてベストではない場合もあり、先天疾患や奇形を誘発する原因にもなっています。また、華やかな流行に合わせたビジネスとしての過剰な繁殖は、たくさんの不幸な命を生むことにも、これはペットショップやブリーダーだけの責任ではなく、飼う側の責任でもあります。

そのような現状がある中、お金で買うのではなく、里親になるという家族の迎え方をぜひお考え下さい。新しい家族を待っているたくさんの命があります。今までの暮らしを追われセンターに届けられた成犬や成猫、迷子、野良として生まれた子など、いろいろな状況で保護された子たちが「これまで」をリセットして里親さんを待っています。その子たちの生い立ちを受けとめ共に暮らすのは、とても味わい深く、命のバトンを受け取る感覚かもしれません。そんな里親募集という犬や猫の迎え方をご検討ください。



*各地域、自治体や愛護団体さんが犬猫の譲渡会を開催されています。
*公報やHPをご覧ください。またweb上に里親募集掲示板もあります。

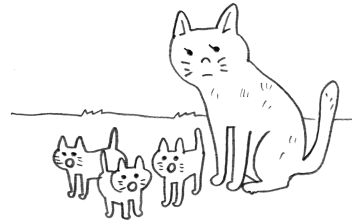
『飼わない』というのも、犬や猫への愛情です。

最後まで愛情を持って飼う覚悟と責任が持てなければ、ペットを迎えないという決断も。終生飼育はとても大切な責任ですので、ぜひお考えください。

餌やりと不妊手術はセットで。

殺処分の多くは「のらねこ」と言われる飼い主のいない猫が生んだ子猫たちです。

私たちの身の回りにはいる猫は、野生動物ではなく家猫(いえねこ)という種で、人と暮らして生きる動物です。ですので街角の猫に「かわいそうだから」と、ご飯をあげることは決して悪いことではありません。



ですが、ただ餌をあげるだけでは望まれない不幸な命が生まれてしまいますし、増えすぎた猫たちは地域からも迷惑に思われ、猫嫌いを増やし街に居にくくさせることにも繋がります。無責任な優しさは助けつつも、かえって猫を不幸にしてしまいます。きちんと不妊手術をしてお世話することで、その猫を一代限りとし、地域の猫として共に暮らす。それが現時点でのベストな共生のあり方として、愛猫家だけではなく、環境省の方針として県や市でも推進しています。その野良猫に不妊手術をする活動をTNR(ティー、エヌ、アール)と呼びます。

Trap Neuter Return

捕まえて 不妊手術し 元に戻す

専用の仕掛けを使って安全に捕まえます。病院での手術後、もとの場所に猫を戻します。



町から排斥するのではなく不妊手術をして繁殖を防ぐことで安心して猫たちを見守れます。

『耳カット』はTNRずみの目印です。

ひとめで「あの猫には見守っている人がいる」と判るように、耳に三角形の切り込みを入れます。耳上部に入れると花びらのように見えることから『桜カット』『桜猫』と呼ばれることも。痛かったと思いますが、この目印があることで繁殖しないこと、見守る人がいることが判りますし、再度捕まえて開腹されるリスクがなくなる、猫にとって、とても大切な目印です。

野良猫を不妊手術をするにあたり、捕まえられない、費用はどうかとお悩みの方もいらっしゃると思います。まずはぜひお近くの愛護センターや愛護団体に相談してみてください。

県や市には猫の不妊手術用の助成金がある場合も。ただ無責任に目の前の問題がなくなれば良いという気持ちではなく、その犬や猫の行く末を案じてのご相談でしたら、きっと良いアドバイスを頂けると思います。



*カットの位置は耳側面の場合もあります